

2021年8月発行

第9号

大和川 ジャーナル

特集

あらゆる関係者による
流域治水の取り組みの更なる推進

 奈良県

まぐわぶち
竜田川「馬鋤淵」(平群町)

流域治水プロジェクト ～みんなで取り組む浸水被害対策～

近年、令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨などによる水害で甚大な被害が全国各地で発生しています。さらに、気候変動による水害の頻発化・激甚化が確実視されています。このため、河川管理者が主体となって行う「ながす対策」だけでなく、流域全体で国、県、流域市町村、企業等、あらゆる関係者が協働する「流域治水プロジェクト」に取り組んでいます。大和川流域においても、令和3年3月に「大和川水系流域治水プロジェクト」を策定しました。



令和2年7月豪雨による浸水被害
(山形県大石町)



令和元年東日本台風による浸水被害
(長野市穂保地先)

大和川水系流域治水プロジェクト

1 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河道拡幅、河床掘削、遊水地整備、井堰改築、橋梁架替
- 雨水貯留浸透施設などの整備、ため池や田んぼの治水活用
- 利水ダムなどにおける事前放流などの実施 など

2 被害対象を減少させるための対策

- 開発行為に対する流出抑制対策指導
- 市街化編入抑制区域の指定 など

3 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ハザードマップの周知
- 住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- マイ・タイムライン(住民一人ひとりの防災行動計画)の作成
- 危機管理型水位計、簡易型河川カメラの設置
- 要配慮者利用施設における避難計画の策定支援 など

流域治水を加速する最近の動向 ～特定都市河川～

大和川は、下流に亀の瀬という狭窄部を有しており、「ながす対策」に限界があることから、これまで「ながす対策」と「ためる対策」による流域治水に積極的に取り組んできました。

令和3年4月に「特定都市河川浸水被害対策法」が改正され指定要件が拡充し、大和川のように下流に狭窄部を持ち、自然的条件により浸水被害防止が困難な河川も対象となりました。

特定都市河川に指定された河川の流域では、国からの支援制度が充実するなど浸水被害対策をより総合的に推進することが可能となります。

大和川水系流域治水プロジェクトに取り組み、より一層流域治水を推進するために、大和川が特定都市河川に指定されるよう国に要望してまいります。

大和川流域での取り組み

大和川流域では「ながす・ためる・ひかえる」対策の3本柱により、総合治水対策に取り組んできました。特に、平成30年より新たな「ためる対策」として県と市町が連携する『奈良県平成緊急内水対策事業』を推進しています。今後、さらに「大和川水系流域治水プロジェクト」にのっとり総合治水対策をより一層強化します。

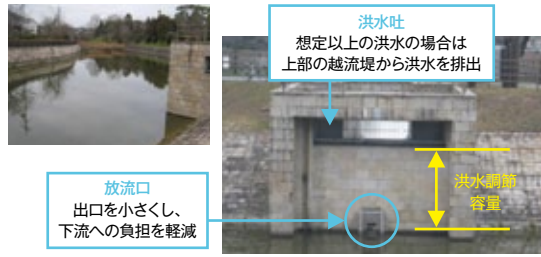
- ながす対策
- ためる対策
- ひかえる対策



1 河川改修
川幅の拡大、河床の掘り下げ、堤防の整備を進めています。



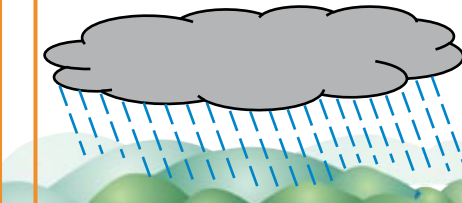
1 ダム
洪水調整を行い、下流の氾濫を軽減します。




1 ため池の治水利用
既存のため池施設を一部改良し、大雨時により多くの雨水を貯めます。



1 遊水地
洪水を遊水地内に越流させることにより、下流の氾濫を軽減します。




2 市街化編入抑制区域
浸水のおそれのある区域を、原則として市街化区域への編入を抑制することにより将来の浸水被害に対する安全性を確保します。



1 ため池の保全
雨水を貯留し、洪水を抑制する効果があるため池を保全しています。

- 1 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 2 被害対象を減少させるための対策
- 3 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



1 雨水貯留浸透施設
敷地内に降った雨をグラウンドや駐車場に一時的に貯留します。



1 奈良県平成緊急内水対策事業
雨水を貯留施設に取り込み、内水による浸水被害解消を目指します。



2 防災調整池
宅地造成等により河川への雨水流出が増加するため、雨水を防災調整池に一時的に貯留します。

奈良県平成緊急内水対策事業

令和3年度 新たに3箇所を事業化

令和3年度、新たに3箇所（斑鳩町、天理市、大和高田市）で事業化します。県と市町において貯留施設の整備に関する協定書を締結し、早期完成に向けて事業を推進します。

奈良県平成緊急内水対策事業の流れ

【重点地区の選定】

優先的に内水対策を実施し、浸水被害の解消を目指す重点地区の決定

重点地区抽出の考え方

- 10年確率規模によるシミュレーションによる内水被害の恐れのある地区
- 浸水常襲地域に該当または平成29年台風21号による内水被害の発生地区
- 貯留施設による対策が有効な地区

【事業箇所の決定】

貯留施設候補箇所の選定 ●有識者による適地選考委員会で審議

市町で地元調整、予備設計を実施

貯留施設事業箇所の決定 ●有識者による適地選考委員会に報告 ●県・市町が協定を締結

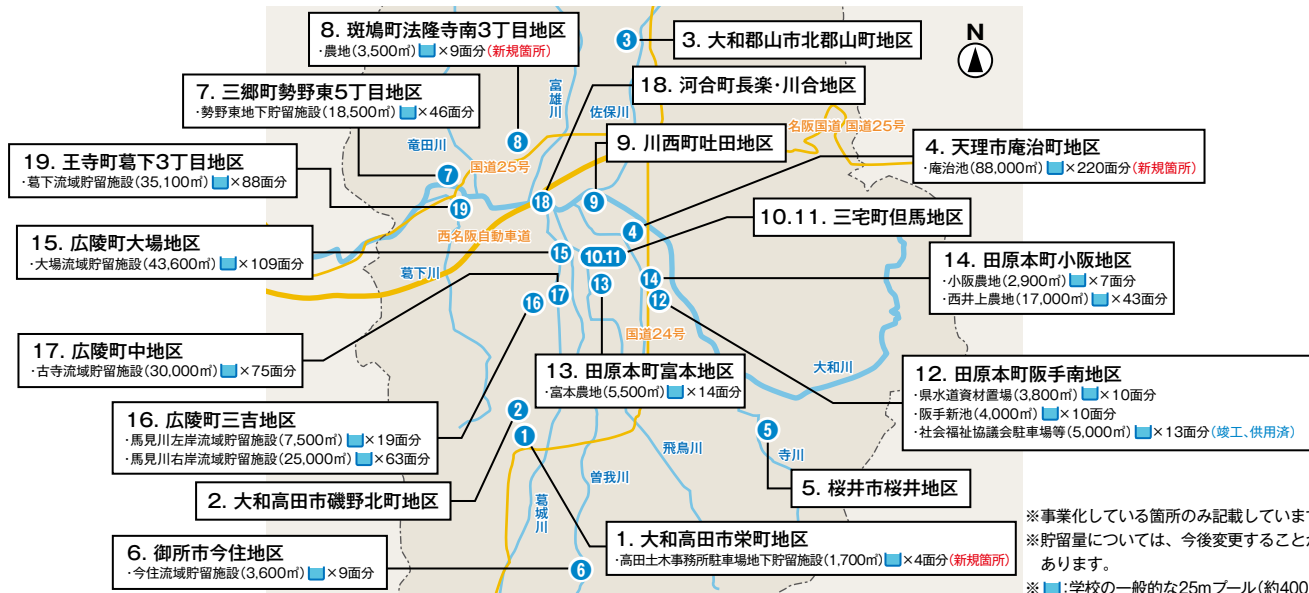
【事業実施】

詳細設計、用地買収、工事

供用開始

奈良県平成緊急内水対策事業 重点地区・事業箇所 位置図

令和3年4月現在



内水被害解消に一步前進！ 社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設が完成

『奈良県平成緊急内水対策事業』の県内第1号工事、田原本町社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設が完成しました。この度、完成に際し、田原本町長よりコメントを頂きました。



田原本町 森章浩 町長

〈田原本町長コメント〉

平成30年5月より、内水氾濫による浸水被害の解消にむけて始まった『奈良県平成緊急内水対策事業』の第1号工事として、田原本町で令和元年10月より着手しておりました町社会福祉協議会・町埋蔵文化財センター駐車場の地下貯留施設が、国・県のご支援により令和3年3月末に無事竣工いたしました。

これまで田原本町では、昭和57年・平成29年の台風や、局地的大雨などによる内水被害に長年悩まされてきましたが、この度の雨水貯留施設の整備により、周辺地域における浸水被害の解消や軽減が大いに期待されます。田原本町としましては、引き続き奈良県平成緊急内水対策事業を力強く推進していきたいと考えており、事業の適地選定場所における準備が整い次第、浸水被害の解消にむけて整備を進めていく予定です。

また田原本町に限らず、大和川流域内の市町村では内水氾濫の被害が深刻な課題となっております。国ではダム治水から「流域治水」に考え方がシフトしているように、大和川流域における内水被害を防止・最小化するためには、流域全体での貯留施設整備等の取り組みが必要不可欠であると考えています。今回の竣工により、関係する流域市町村における内水対策事業の必要性や理解浸透のきっかけとなれば幸いです。

社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設完成図(田原本町)

平成29年 台風21号 浸水時



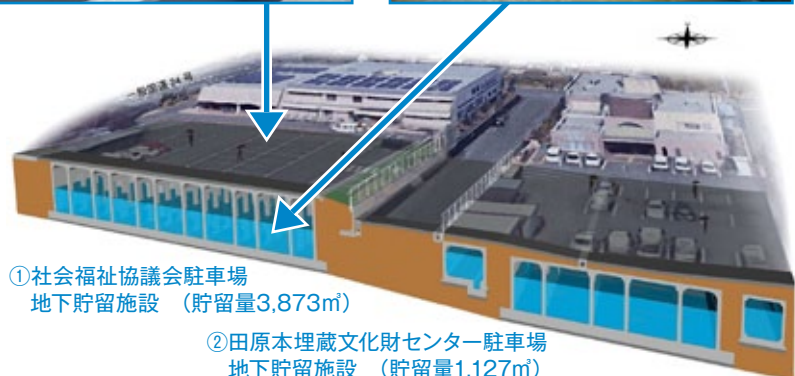
雨水貯留施設 外観



雨水貯留施設 内部



施設概要	
総貯留量	5,000㎡ (他、駐車場表面貯留 66㎡)
構造	プレキャスト式雨水地下貯留施設
諸元	①設置面積 A=1,148㎡ 内空高 H=4.0m ②設置面積 A= 497㎡ 内空高 H=3.0m





竜田川「竜田公園」(斑鳩町)

竜田川

〜竜田公園からの眺め〜

斑鳩町(奈良交通)竜田大橋「バス停から徒歩5分」

ちはやぶる

神代も聞かず

竜田川

からくれなゐに

水くくるとは

(在原業平)

と詠われた、昔からのみじの名所です。現在は、もみじに加え桜を中心に植栽されており、春には桜も楽しめる名所となっています。

今回の写真は初夏に撮ったもの。木々の新緑と川の涼しげな趣が調和した風情は、こころに清々しさを与えてくれます。

身近な川の季節の移り変わりを意識してみたいかがでしょうか。新たな発見があるかもしれません。



今号の表紙について



竜田川唯一の渓流地

馬鋤淵

平群町(近鉄東山駅より徒歩8分)

昔、川の瀬に馬鋤(牛馬に引かせて田畑を耕す農具)を付けた牛がのみ込まれ、二度とあがってこれなくなり、それ以来「こは」馬鋤淵」と呼ばれています。また、河童が住んでいるとも…

大きな音を立てて流れ落ちる水、流れにより浸食で角が丸みを帯びた岩、底が見えない深い淵、大和川流域でも力強さを体感できる渓流があります。

奈良県河川情報システムのアラームメールについて

お住まいの地域で気象警報・注意報が発令された際や、強い雨の降っている箇所や水位が上昇した場合に、メールで情報配信を行っています。

早めの避難行動をとるためにも是非登録をお願いします。

登録画面イメージ

ユーザ登録

迷惑メール設定などを行っている場合、
「kcn.jp」の受信許可設定が
必要です。

地域選択・市町村選択

地域選択画面が表示されるので、
受信したいエリア・市町村名を
選択してください。

水位情報・雨量・気象警報

観測局名です。

チェックをいれます。

任意の水位でも
設定できます。

上図は河川水位の登録画面の例です。気象警報・注意報や雨量でも登録できます。(その他、土砂災害警戒情報や地震情報も登録できます。)

登録して頂くと...

河川水位が上昇した場合や気象警報が発令された場合に、その情報メールが届きます。

河川の詳細情報は下記 URL より
確認してください。 <http://www.kasen...>

気になる地域・情報を
クリックすれば
詳細ページへ。

またメール内に記載のURLにアクセスして頂くと、奈良県河川情報システムのページにアクセスします。

詳しくは、右記のQRコードを読み取るか、下記Webサイトをご覧ください。

奈良県河川情報システム【アラームメール】にアクセスできます。
(http://www.kasen.pref.nara.jp/amailpub_fp/)



新型コロナウイルス感染症が収束しない状況においても、災害はいつ発生するかわかりません。

**災害発生または発生するおそれがある時は、
危険な場所から、安全な場所へ避難することが原則です。**

知っていただきたいコロナ禍における避難のポイント

- ご自身の命を守ることが最優先です。自治体などからの情報を参考に、災害の危険が迫ったら、危険な場所から**迷わずに避難**してください。気象情報や避難情報の発令状況は、「奈良県防災ポータル」から確認できます。
- 避難とは「難」を「避」けることです。小中学校や公民館などの避難場所への避難に加え、安全な場所にある親戚や知人宅、ホテルなどへの避難も考えてみましょう。自宅でも身の安全を確保できる場合は、自宅にとどまることも選択肢です。事前に避難先を確認し、相談しておきましょう。
- マスク・体温計・手指消毒剤・スリッパ・タオル・ゴミ袋など、感染症対策に必要なものはできるだけ**各自で用意し、携行**してください。
- マスクの着用や手洗い・換気の徹底、隣の人との間隔の確保など、**避難所で行われる感染症対策へのご協力**をお願いします。
- 激しい雨の時には移動すること自体に危険が伴います。「**自らの命は自らが守る**」意識を持って、普段から**準備し、明るいうちの早めの避難行動**を心がけましょう。

● 避難情報(警戒レベル)の一覧

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	避難情報等
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
~~~~~ 〈警戒レベル4までに必ず避難！〉 ~~~~~			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報

※令和3年5月から避難情報の名称等が変わっています。

詳しくは 奈良県 <http://www.pref.nara.jp/55577.htm>

**ストップ水難事故！** ～川は急に増水するなど危険な一面があります～

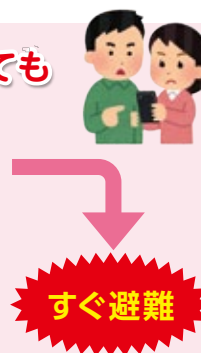
**川で遊ぶときの鉄則**

- 天気や川の情報を常にチェックする
- 川に入る場合はライフジャケットなどを準備する
- 川に着いたら、看板や地元の人から川の情報を得る
- 川の様子をよく見る



**付近で雨が降っていなくても  
こんな時は危険**

- 大雨注意報、警報が発表された
- 上流の空に雨雲や積乱雲が見えた
- 水かさが増した
- 水が濁った
- 落ち葉や流木、ゴミが流れてきた
- 山鳴りがした



天気予報とあわせて  
確認しましょう

奈良県河川情報システム  
雨量、河川水位、河川監視カメラの画像をリアルタイムで確認できます。

